

**本校の学校教育目標**

「明るく思いやりのある人」 「よく考える人」 「たくましい人」

**「学びのエリア」のめざす子供像**

「自立」「貢献」

**教育課程の重点教育活動**

全学年の学級編成を基盤に、児童の新たな意欲を高め、交流を広げながら、興味・関心を高める自己調整型学習や問題解決型・探究型の授業を推進していく。

また、研究内容である「デジタルを活用したこれからの学び」についても一層推進していきたい。

さらに、コミュニティ・スクール委員会を中心に、奨学会、学校支援地域本部、おやGの会、あいキッズ、関係機関等が一体となって、児童の学びや学校環境の向上に取り組んでいく。このような取組を最重点にして、社会に開かれた教育課程の実現を図っていく。

**(1) 「明るく思いやりのある人」【徳】**

・「学級活動」で日常の問題等を話し合い、解決していく姿勢を育てる。

2月25日(木)・26日(金)に「いたばし学級活動の日」がある。育った子どもの姿を見せる。

**(2) 「よく考える人」【知】**

・確かな学力の向上が、子どもの将来を幸せにする。

・校長からの「ノート賞」を渡し、児童の学習意欲を高める。

・令和7年度は「ノート10冊」は125名、「ノート20冊」は7名、「ノート30冊」2名、「ノート40冊」は1名、最高46冊。合計3031冊！

・学年ごとに交換授業を行い、教員の教材研究を深め、「学年の子」として児童を育てる。

**(3) 「たくましい人」【体】**

・理想の小学校の一つの姿は、「児童と教員が、毎日、一緒に遊んでいる学校」である。

**(4) 生活指導・進路指導**

・「志村二小のきまり+1(プラスワン)」に取り組む。全児童がしっかりあいさつできるように「あいさつのレベル7」のレベル向上に取り組む。

**(5) 事務処理の迅速化**

・仕事の軽重を判断する力を身に付けてほしい。作成した文章は、必ず声に出して一読する。

**(6) 環境整備**

・公立学校は多様な人が来校する。校舎内外だけでなく、担当する教室や職員室は、いつ、だれが見ても整理整頓とんされていることが当たり前という状態にする。教室や職員室の机の上に書類などが、もので積み重なっているのは論外である。(5)と同様、その人の「仕事に対する姿勢」が、机の上に表れる。

**(7) 家庭・地域との連携**

・最新情報の発信は、学校や教職員のPRの場である。

**(8) サービスの徹底**

・「ヒヤリ・ハッと」したことを、全教職員が相互に注意し合う雰囲気、職場環境が大切である。